

三條別院のご案内

二条別院では、去る十一月五日から八日まで、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、教区内の門徒・僧侶を挙げて、お取り越し報恩講が厳修されました。また、本年も六日の初日中から八日の結願日中までは、信明院殿御鍵役の御参修のもとで法要儀式が執行されました。

また、本年も三日に報恩講お持ち受けの集いとして、お取り越し奉讃会主催の「ごぼささま寄席」が開催され、三遊亭金馬師匠をはじめとした豪華出演者が来院しました。

寄席は本年で十年目となり、お取り越しを彩る秋の風物詩として認知されてきたようで、地元を中心に多くの方が参加さ



【本年も合唱団に推進員も加勢した】

お取り越し報恩講厳修

法話講師に真城義麿氏

絵解き法話など、新たな試みも

れました。

五日には初逮夜に先立ち、音楽法要が行われ六十名の合唱団と教区推進員、そして昨年



【女性による助音方は昨年の倍近い、26名もの僧侶が出仕した】

き続き、外陣に全六回の習札を終えた教区



【鷺尾輪番(上)、井上正氏(下)】



【6日、7日に信明院殿により帰敬式が執行され、29名の仏弟子が誕生した】

内女性僧侶二十六名が出仕し、西洋音楽による仏教讃歌と伝統声明が混じりあう法要をお勤めしました。

また、

本年は御伝鈔拝読に先立ち、絵解き法話が行われました。スクリーンに御絵伝を映し出す試みは二〇〇九年より行われていますが、この度の報恩講では、より御伝鈔に親しんでいただくための試みとして、村山教二氏(第十一組願興寺衆徒)より五日・六日と二日にわたってご法話いただきました。

五日、六日の逮夜後には、唐戸を閉め切った暗闇の本堂で、厳肅な空気が張り詰める中、鷺尾輪番により御伝鈔上巻、六日に井上正氏(第十組受徳寺住職)により下巻の拝読がなされました。

六日、七日の日中法要の後には、帰敬式実践運動の一環として、信明院殿御鍵役により帰敬式が執行され、参詣者ともに新たな仏弟子の誕生を祝いました。

また、今回の報恩講の法話講師には、元大谷中学・高校校長の真城義麿氏(愛媛教区東予組善照



【5日、6日は、御伝鈔拜読に先立ち村山教二氏による絵解き法話が行われた】

また、内陣出仕には教区内僧侶にご参勤いただき、外陣出仕には三条声明会に助音方として加勢いただき、五日、六日は教区の楽人、七日、八日は高田教区の楽人が雅楽を

寺住職)をはじめとし、各晨朝には教区内僧侶による法話が行われました。各日の講師は以下の通り。六日 青山信太郎氏(第十五組浄福寺住職)、七日 大平博義氏(第二十二組安善寺住職)、八日 長谷川勇氏(第十一組願興寺衆徒)。
 本年の法話は、報恩講実行委員会教化部会で決定した「お坊さんの話をお寺で聞こう」というメッセージを旗印に計画され、真城氏を中心に、絵解き法話などの新たな試みもあり、誰もが気軽に本堂でお参りできるようにと願われたものです。



【上から青山氏、大平氏、長谷川氏】



【教区内僧侶によるご参勤。7日は出仕者が後座に溢れた】

担当し、本堂に報恩謝徳の念仏を、響かせました。なお、この度の報恩講でも、昨年に引き続き、仏華を教区内御寺院に御依頼し、法務御多用のところ、法要の一週間以上前から準備をいただきました。



【真城義麿氏は、2010年の報恩講兼御遠忌お持ち受け法要でもご法話をいただき、本年、再度ご出講を依頼】



【報恩講期間中を通して、三条市内・県内各地からの多くの参詣者で賑わった】



【三条声明会の加勢を得て法要厳修】



【参詣者に御礼を述べる信明院殿】

最後に、この度の三条別院報恩講を厳修するにあたり、法要へ出仕いただいた方々、スタッフとしてお手伝いいただいた方々に、この場を借りて御礼申し上げます。また、来年のお取り越し報恩講もまた、御同朋・御同行の皆様方のご尽力により厳修できますよう、念願いたします。

三条別院に想う

思いがけず原稿依頼を受けてしまい、はて別院に何を想うか、考えさせられた。

はるか昔、得度試験のため弟と一緒に父に連れられて行き、初めて別院にお参りした。その後別院への道は遠く、縁あって十三年間も三条に勤務していたが、本寺小路まではよく行っていたのに、別院を素通りしたままで、時は流れた。やがて住職となり組の役をいただき、それまで疎遠だったのに、いつしか別院に行く機会がどんどん増えていった。

三条別院は地元の人々から『ごぼうさま』と呼ばれ親しまれている。毎年『別院フォーラム（本年は御坊市と命名）』が開かれているが、今年は特にご当院達が趣向を変えて企画を練られ、それが功を奏して大いに賑わって別院全体に熱気が溢れていた。マスコミにもとりあげられ、今はやりの美坊主ブームにもあやかり話題性もあった。老若男女が本堂にあふれ、日頃お参りしない若い人たちが別院に活気と華やかさをもたらした。

私も今年こそはとお参り方々『御坊市』に参加した。お坊さんワークショップ『念珠をつくらう』はすでに希望者が多く、見学したが、初めて念珠を作るという人達は若い女性が多く、スタッフは難解な作り方を理解するまで、熱心に教えていられ感心した。好みの玉を選び、オリジナルな念珠が完成すると参加者は大喜びで

大満足の様子だった。

さて教区御遠忌について、五月に答申が行われ、内容として「簡素に」と「法要重視」という集約があった。教区御遠忌を厳修し、逢い難い念仏のご縁に出会った喜びを多くの同朋の方々と共にしたい。

そこで三年後の教区御遠忌では、『法要重視』の中にも、参詣者全員で本堂いっぱい響く『正信偈』の大合唱をするべきと思われる。五十年に一度の教区御遠忌では、参詣者が「正信偈をあげて良かった」「別院にお参りして良かった」と思える法要を目指してほしい。いつも聖人の恩を感じて、三条別院に参りたいと思う。

（第十九組正願寺住職 中川 隆正 氏）

○次回の「三条別院に想う」は、

美野 彰恵 氏（第二十二組本誓寺）より

ご執筆いただきます

■煤払い奉仕団に参加しませんか？

今年も残すところ後わずかになりました。そこで、一年で溜まった埃を払う「煤払い奉仕団」を左記の通り開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

◇日時 十二月十六日（日）

午前九時より正午まで

◇場所 三条別院本堂

◇持ち物 勤行集、念珠

◇締切 十二月十二日（水）までに当別院までご連絡ください。

◇その他 動きやすい服装でご参加ください。

■除夜の鐘・修正会のご案内

除夜の鐘

◇日時 十二月三十一日（月）

午前十一時四十五分より

◇場所 当別院鐘楼堂

◇受付 教区同朋会館

○受付場所にて、温かい飲み物を振舞います。

修正会

◇日時 二〇一三年一月一日（火）

深夜午前零時より

◇場所 当別院本堂 旧御堂

○お勤め後、旧御堂にて輪番による新年の挨拶



■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【十二月二十八日（金）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

北島 栄誠 氏 （第十一組 長福寺）

※新年からの講師一覧は次号でお知らせします。

■定例法話会のご案内

毎月十二日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。（四帖目十二通）

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より（二時間程度）

◇場所 三条別院 旧御堂
九月〜十二月

北原 了義 氏（第十一組 西照寺）



【北原氏による全4回の定例法話も、12月で最後を迎える】

■別院声明教室のご案内

別院声明教室を毎月一回開催しております。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習です。参加者を継続して募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 二〇二二年 十二月十三日（木）
二〇二三年 一月 十七日（木）

二月 十四日（木）

三月 十八日（木）

四月 二十三日（木）

五月 二十三日（木）

六月 十三日（木）

◇時間 午後六時より午後八時まで
◇会場 教区同朋会館（三条別院内）

◇講習内容 正信偈 草四句目下
念仏讃 洵三

和讃 弥陀成仏のこのかたは
次第六首

回向 願以此功德

◇講師 島津 崇之 氏（第十八組 満行寺）
◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または『大谷聲明集 上』、念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円/回



■三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会（茶話会）など、近隣の方をはじめ、有缘の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、三条別院有志の会では、より多くの方に参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださ

いますよう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

■別院奉仕研修について

三条別院では常時奉仕団を受け付けております。先達の篤き御懇念によって護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたら、ご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数

えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談させていただきます。

■三条別院非常勤嘱託募集について

全寺院に既に案内させていただきました非常勤嘱託を、引き続き募集いたします。詳細・履歴書につきましては、当別院までご連絡ください。

- 一、募集人数 若干人
- 二、勤務先 真宗大谷派三条別院
- 三、職種 列座業務
- 四、勤務時間 月十五日程度 平常午前六時から八時まで 諸法要及び土日祝日に出勤の場合(月一回程度)は、その限りではない。
- 五、応募資格 ①真宗大谷派の僧侶 ②儀式・声明を学ぶ意欲がある者
- 六、その他 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

◇◇編集後記◇◇

プロ野球ファンの間では「アニキ」と呼ばれ、様々な記録を打ち立てた阪神タイガースの金本知憲選手が、本年九月十二日に今季限りの引退を発表した。

一ファンとしては悲しい発表であったが、そ

の金本選手が九月二十八日の対戦相手であったヤクルトスワローズのファン宛てに粋なメッセージを送った。

「敵チームの選手にも関わらず打席に立つ度に拍手と声援を送っていたとき、本当にありがとうございました。増して二十六日の試合でホームランを打った後にも拍手を頂きました。本当に嬉しかったです」また、「ちょうど僕がレフトスタンドに手を振ってる時に、なんとヤクルトファンが埋めつくすライトスタンドから金本コールが!!!」「全然気付きませんでした! 気付いていたらライトスタンドまで行つたのにな! 嬉しさで後悔と申し訳なさでいっぱいになりました」(抜粋)というお礼とお詫びの内容のものであった。

ヤクルトファンへ想いを伝えようとする気持ち、それも自身のフィールドではなく、より多くのヤクルトファンに伝わる場(ヤクルト公式サイト)を選んだ金本選手。そしてそのメッセージを快く掲載をしたヤクルト球団。

「お互いを思いやる」。今私たちに足りないものはこれではないだろうか。

(〇)

別院メールアドレス・sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

